

お釈迦様の功德

釈尊しやくそんの因行いんぎょう果徳かとくの二法にほうは
妙法蓮華經みょうほうれんげきようの五字ごじに具足ぐそくす。

我等われら此この五字ごじを受持じゆじすれば
自然じねんに彼かの因果いんがの功德くどくを譲り与ゆずえ
えたまう。

（観心本尊抄かんじんほんぞんしょう）

日蓮聖人にちれんしょうにん 五十二歳著作

■現代語訳■

お釈迦様の修行しゆぎようのすべて（因行いんぎょう）と、
お悟りさとにより得られたすべての功德くどく
（果徳かとく）は、妙法蓮華經みょうほうれんげきようというわずか五字
の中に全てそなえられています。

我々衆生われわれしゆじようは、この妙法蓮華經みょうほうれんげきようの五字ごじを
信仰しんこうし、受け持うもち続けることにより、
お釈迦様の修行しゆぎようと悟りさとの功德くどくを自然しぜんに譲り与ゆず
えられることができ、お釈迦様しやくあさまと同じ悟りさとを得た仏ほとけになることができます。

■ 解説 ■

妙法蓮華經というお経は、お釈迦様 80 年のご生涯のうち晩年に説かれたお経です。

お釈迦様の本意が述べられお経で、お釈迦様の過去から未来へと続く永遠の命と導きが説かれています。

数えきれないほど遠い過去における修行と、その修行により得られた悟りの功德は、妙法蓮華經の五字の中に包み含まれています。

日蓮聖人は「妙法蓮華經の教えを命がけで信仰します」の意味にあたる「南無妙法蓮華經」を一心に唱えなさいと教えられています。

南無妙法蓮華經と唱える信仰により、お釈迦様の功德を戴くことができ、永遠なる安心を得ることができます。

日蓮宗 善通山 宝満寺